

## 第22回 総合防犯設備士資格認定試験問題

### C問題解答例



公益社団法人 日本防犯設備協会

## C 専門問題（必須）

### C 問題－1（セキュリティについて） 解答例

安全で平和な生活と組織活動の継続を確保するためには、適切で明解な行動の基となるセキュリティポリシーの策定が重要な鍵となる。

総合防犯設備士として組織活動上の防犯対策を提案する場合には、セキュリティポリシーの考え方や手法を参考にすることが望まれる。以下の問1から4の空欄に答えを記せ。

問1. セキュリティポリシー策定の目的を解答欄①にならって、四つ記せ。

#### 【解答欄】

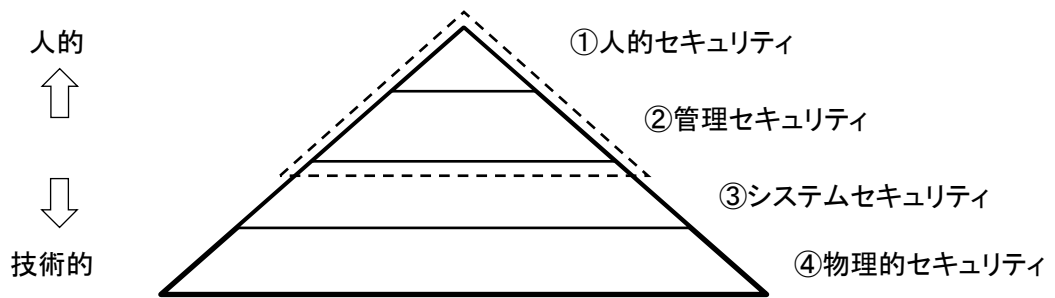
①	教育・訓練などを通じて関係者のセキュリティ意識(セキュリティアウェアネス)の高揚を図る。
②	組織の資産を統一的に取り扱う。
③	セキュリティ活動の責任の所在を明確化する。
④	取引相手に顧客を含む一般社会から社会的認知を継続的に取得する。
⑤	被害に遭遇した場合、その立証を容易にする。
⑥	保険に優位加入する。

問2. セキュリティポリシー策定上の留意点を解答欄①にならって、四つ記せ。

#### 【解答欄】

①	一部の部署だけでなく、全組織体制で作成する。
②	組織が独自に培ってきた文化に無理のないように配慮する。
③	不履行や違反行為に対して強制力のある罰則を持たせる。
④	策定したポリシーに柔軟性を持たせる。
⑤	必ず組織の最高責任者名で公布する。
⑥	他のポリシーとの整合性を図る。
⑦	詳細にわたる膨大な文章でなく、簡単明瞭な記載にする。
⑧	常に最新化できるようにする。
⑨	完全でなくとも短期的に策定し、継続的な向上のため努力をする。

問3. セキュリティポリシー策定の大事な考え方の構成を図にすると次のようなピラミッド型となる。それぞれの階層を構成するものを解答欄①にならって、各々二つ以上記せ。



【解答欄】

①	労務管理、倫理管理、遵法管理、セキュリティ意識(セキュリティアウェアネス)の高揚
②	組織管理、物財管理、業務管理、運用管理など
③	ネットワークセキュリティ、製造工程管理など
④	物理的防御策として実施する地震対策、防火対策、防水対策、防犯対策など

問4. セキュリティポリシーの文書化に際して配慮する点を解答欄①にならって、四つ記せ。

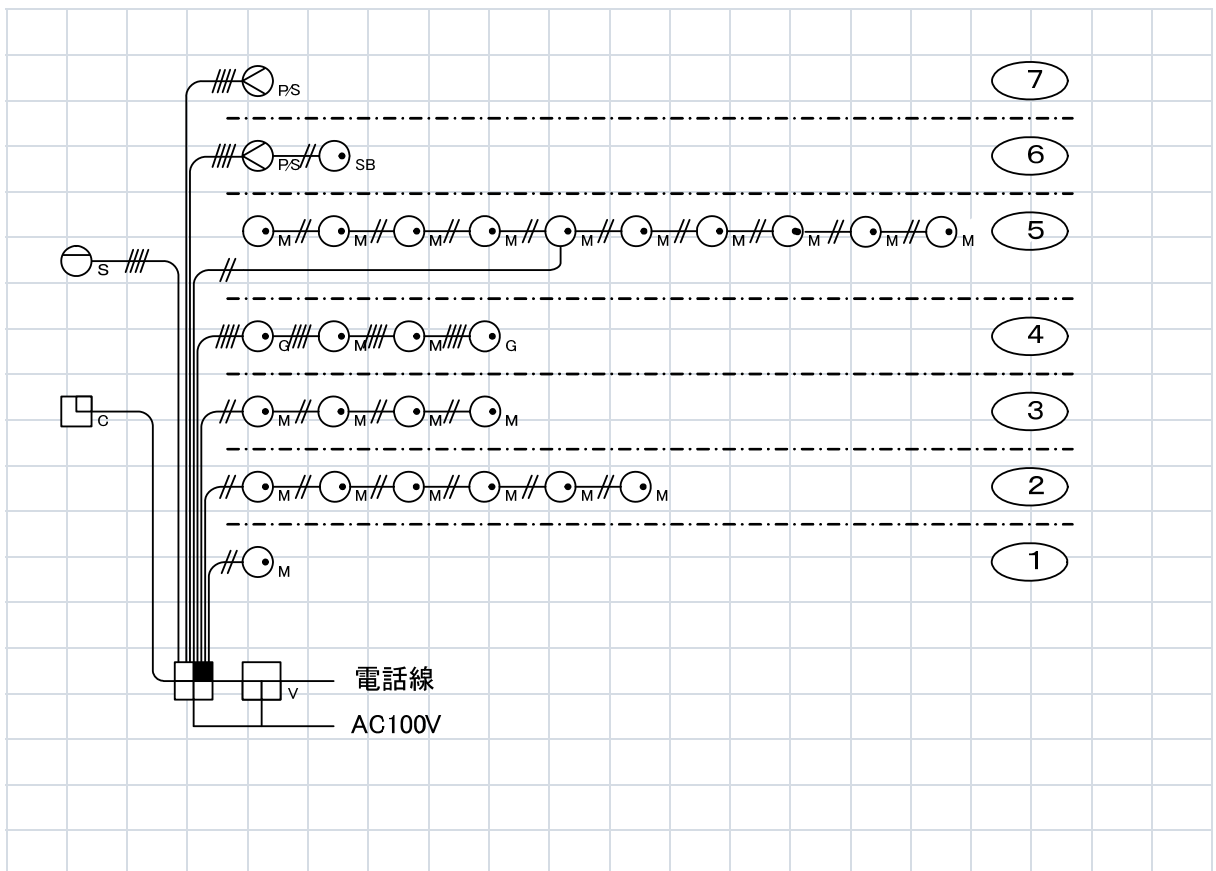
【解答欄】

①	簡単・明瞭にする。
②	目的を明確にする。
③	5W1Hの要素をきちんと入れる。
④	順守義務と違反措置を明確にする。
⑤	具体的な内容をマニュアルないしガイドラインにまとめる。

1. 侵入警報システム機器一覧表 本解答は窓等の侵入口をマグネットスイッチで警戒した例

No	図記号	名称	数量	備考
1		【記入例】 警報制御盤	1	10回線用
2		自動通報機	1	
3		マグネットスイッチ	23	
4		ガラス破壊検知器	2	
5		金庫検知器	1	
6		赤外線パッシブ検知器	2	
7		入出操作器	1	カード式
8		威嚇器(電子サイレン)	1	
9				
10				

2. 侵入警報システム系統図



### 3. 防犯カメラ方式の選択







使用するカメラ方式にチェックを入れよ。

チェック欄	方式
	ネットワークカメラ方式
✓	同軸アナログ HD 方式(AHD 方式など)

### 4. 防犯カメラ一覧表

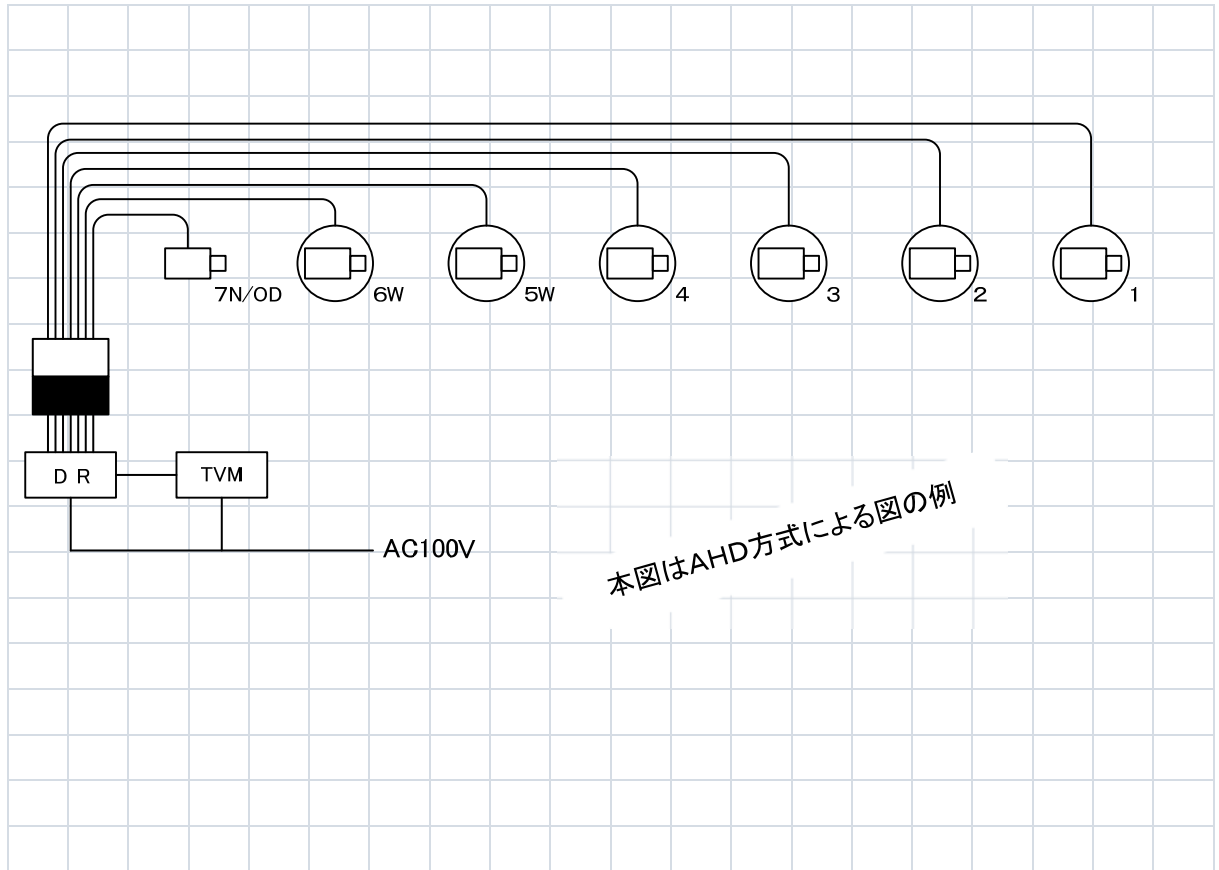
カメラ番号	撮影対象場所 <sup>[注]</sup>	撮影目的	画角	必要機能
1	(記入例) 作業室1 入り口付近	入室者の人物の特定	A	
2	作業室2 入り口付近	入室者の人物の特定	A	
3	作業室3 入り口付近	入室者の人物の特定	A	
4	作業室4 入り口付近	入室者の人物の特定	A	
5	玄関出入口扉付近	入館者の人物の特定	A	ワイドダイナミック機能
6	受付付近	人物の特定	A	ワイドダイナミック機能
7	通用口付近 及び駐車場内	人物の特定 全体把握	A A25	屋外設置型 デイナイト機能
8				

### 5. 防犯カメラシステム機器一覧表

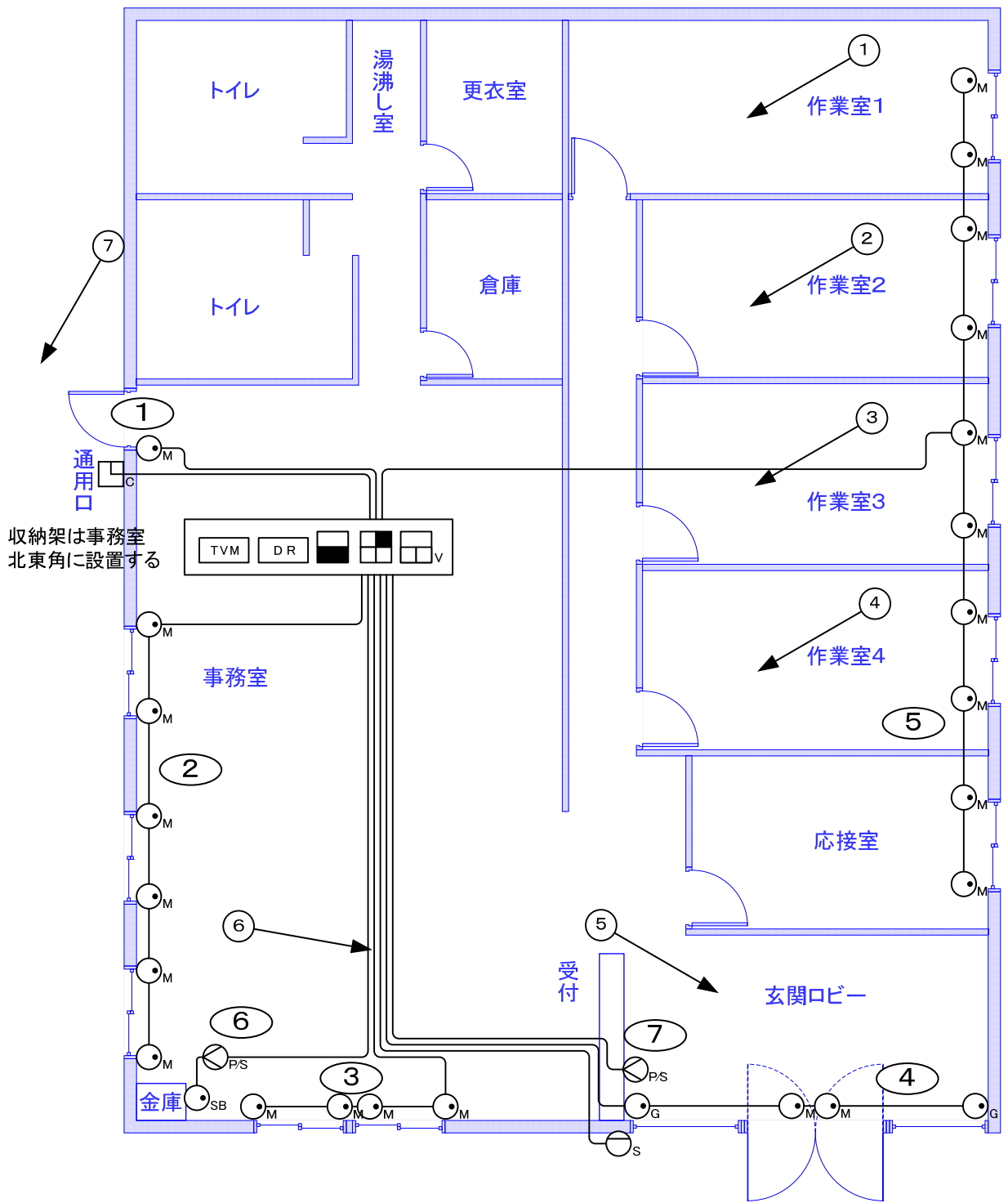
No	図記号	名称	数量	備考
1		レコーダー	1	8回線用
2		防犯カメラ(ドーム型)	4	
3		防犯カメラ(ドーム型)	2	ワイドダイナミック機能付き
4		防犯カメラ(箱型)	1	デイナイト機能付き、屋外ハウジング一体型
5		電源装置	1	電源重畳式
6		モニター	1	
7				

6.. 防犯カメラシステム系統図

注: 防犯カメラシステム機器一覧表の図記号を使用のこと  
カメラ番号を入れること



7. 全体設備図



## 【設問】

以下、解答欄の課題1～4に対し、総合防犯設備士 J 氏の立場で改善策とその理由を提案せよ。

## （課題1）

フードディフェンスに対する経営者層と従業員の危機意識のギャップを埋めたい。改善策とその理由を提案せよ。

## 【解答欄】

## 解答例

- ① 社員教育や社員研修で危機意識の共有化を図りたい。  
食品衛生に関する教育や研修を行う際に、フードディフェンスについての内容を盛り込む。具体的には、5S の実践活動や HACCP の取り組みなど決められたルールを順守することの重要性とともに、フードディフェンスについても、事件の事例や社会的影響、雇用の喪失などの内容に触れ危機意識の共有化を図りたい。
- ② 事故や事件をなんとなく他人事として捉えている雰囲気定期的に教育や研修で、組織が正常性バイアスに陥らないように努めたい。

## （課題2）

第1警戒線、出入口(G1-2)において、守衛の業務が機能していない。「侵入阻止の意思表示」の観点から許可された者、許可された車両だけが入域できるよう、入退場の仕組みを見直したい。改善策とその理由を提案せよ。

## 【解答欄】

## 解答例

- ① 守衛室とゲートバーを移設する。  
アクセスコントロールのチェックポイントを管理棟エントランス手前付近に設け、すべての入域者をチェックするようにしたい。そのために、守衛所とゲートバーを移設する。  
入場時には、入場許可カード、社員カードを認証装置に正確に読み込ませる。「アンチパスバック制御機能」を付加させて、入場履歴がないと退場側ゲートバーは開放されない仕組みとする。出勤時間帯のゲートバーは「連続解錠時間設定機能」を付加させて一定時間開放させる。しかしその時間帯も入場時、退場時の認証操作は徹底させる。
- ② 出入口が1か所のため、時間帯によっては渋滞が発生することが考えられる。また、トラックと乗用車が混在するため事故の発生に留意する必要がある。緩和策として、物流関係のトラック専用出入口を別の場所に新たに設けることも考慮したい。入退場のルールは、①と同じとする。



(課題3)

工場棟 A 及び工場棟 B の第2警戒線、エントランス部(G2-3)において、誰もがフリーで入域できる現状を懸念する。アクセスコントロールの仕組みを構築したい。改善策とその理由を提案せよ。

【解答欄】

解答例

- ① A棟及びB棟エントランスにセキュリティゲート(例えばフラッパー式ゲート)を設ける。  
A棟従事者はA棟のみの入場を許可する。B棟従事者はB棟のみの入場を許可する。入場カード、社員カードの操作で、許可された者だけが入場できる仕組みとしたい。  
認識装置は、生体認証装置を採用することも一案である。いずれにしても入退場については厳しく対応していることを内外に印象付けたい。

(課題4)

工場内の「重要防御エリア」について、許可された者だけが入域でき、不許可者は入域しづらい雰囲気をつくりたい。改善策とその理由を提案せよ。

【解答欄】

解答例

- ① 作業着や作業帽子の色分けをし、入域を許可された者かどうかを誰もがわかるようにしたい。  
ポケット無しの作業着は必須である。
- ② 作業着に内蔵したICタグでアクセスコントロールをするという手段もある。また、虹彩(アイリス)認証方式の生体認証装置を採用する手立てもある。
- ③ 当該エリアで作業が行われていない時間帯は、既存の監視カメラに「モーションディテクト機能」を付加し、無人時、不法侵入の警戒管理を行う。